

平成 27 年 5 月 吉日

人工内耳友の会会員・全ての難聴児を持つ保護者の方へ

人工内耳友の会東京支部 支部長 長井修一
小児部 真島博子

先輩ママからのアドバイス

就学前後の難聴児教育について

小児部講演会のお知らせ

日 時：平成 27 年 7 月 4 日（土） 13:00～16:30
場 所：東京都障害者福祉会館（2 階・教室）

- 第一部 「就学前のオーディトリバーバル」
知茶子シュタイガー氏（声援隊代表）
- 第二部 「小学生の日本語強化」
星野友美子氏（静岡市人工内耳親子の会代表）



※詳細は、裏面をご覧ください。

知茶子シュタイガー：声援隊代表 (www.seientai.com)。先天性高度難聴の娘をオーディトリバーバル教育で育てた経験から、2008 年任意グループ【声援隊】を結成。「きつともっとずっと聴こう！」他難聴児の親のための勉強会を数多く開催している。

星野友美子：2 人の人工内耳装用児の母。海外で日本語教育に携わる。昭和女子大学大学院文学研究科言語教育コミュニケーション専攻博士過程修了。専門は、聴覚障害児のための実践的言語習得法。東海大学研究員を経て、家庭における療育や言語習得支援についての講演や研修を全国で行っている。著書「人工内耳装用児の言語学習活動」ココ出版

いつも東京支部小児部の活動にご協力・お力添え頂きありがとうございます。

夏の恒例となっている小児部講演会を、今年は神奈川支部小児部との「共催」で開催いたします。

幼児の装用が本格化してから20年が過ぎました。初期の親たちは五里霧中で情報を集めて手術を決断し、懸命に養育をしてきました。子どもたちが成長し親の役割が変わっていく中で、多くが親の会などの活動を続けています。また、難聴に関する専門家になる方も出てきています。

「当事者だからこそわかること、伝えられることを伝えていく。」時代は変わり技術が進歩しても変わらないものを、身近な当事者から学ぶ...そんな企画を考えました。講師にお迎えする2人の「先輩ママ」は、難聴児の母であると同時に活動家、あるいは研究者です。就学前と就学後、それぞれに重点の置き所が違う難聴児教育について話していただきます。質疑応答の時間も十分に取られ、幅広い年齢層の問題について、また、親としての障害との向き合い方について、語り合える場としたいと思っています。

装用ご検討中の方、養育・療育真っ最中の方、子育て一段落の方、教育機関・医療機関の方々、ぜひお誘い合わせの上、ご来場ください。お待ちしております。

記

日 時：平成27年7月4日（土） 12:30～ 開場（受付開始）
13:00～14:10 第一部講演
14:20～15:20 第二部講演
15:30～16:30 質疑応答・まとめ終了

場 所：東京都障害者福祉会館（2階・教室）
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/syoukan/>
住所：東京都港区芝五丁目-18-2 電話：03-3455-6321 Fax：03-3453-6550

参加費：人工内耳友の会会員（他支部含む）無料
非会員 500円（資料代）

保 育：おむつのとれた幼児の有料保育をご希望の方は、6/20（土）までにご一報
ください。担当から別途連絡を差し上げます。

その他：パソコン文字通訳による情報保障が付きます。

主 催：人工内耳友の会[ACITA]東京支部・小児部
共 催：人工内耳友の会[ACITA]神奈川支部・小児部

~~~~~  
申込方法：下記必要事項を、メールにて担当者まで連絡してください。

（〆切：6月27日（土））

こちらから「確認メール」を差し上げます。2～3日経っても返信がない場合はもう一度送って下さい。

※東京小児部の方はMLにて出欠をお知らせください。

必要事項：①参加者全員のお名前 ②住所 ③電話番号

④所属 ⑤難聴のお子さんの年齢 ⑥保育の有無

送信先・真島博子宛 メール：katakorikatakori.jp@yahoo.co.jp